



ジオ通信(第14回)

# 大地を見る目を磨こう!

～めざせ!筑波山地域ジオパーク～

問 ジオパーク推進室  
☑「筑波山地域ジオパーク構想」で検索

## 筑波山地域のジオ話～平沢・宝篋山ジオサイトで石の歴史を学ぶ～

国土地理院の「地理院地図」をもとに作成

筑波山周辺には、石碑や五輪塔などの石造物が数多く残っており、これらのほとんどが、中世から近世に、筑波山周辺の花こう岩や変成岩を加工して造られています。中でも、宝篋山南麓にある三村山極楽寺跡の五輪塔は、花こう岩製で高さ約3.2mあり、間近で見るとその大きさに圧倒されます。

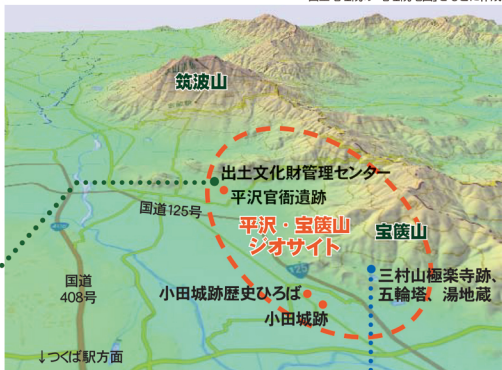
この五輪塔や「湯地蔵」と呼ばれる地蔵菩薩立像は、鎌倉時代、奈良の西大寺の忍性という高僧が、つくば市小田を拠点に真言律宗の布教活動を行った際に、一緒に連れてきた石工たちが造ったといわれています。花こう岩は硬く加工が難しいことから、それまであまり彫刻などの細工はされていませんでした。これらの石造物を見ると、忍性と一緒に来た石工たちがいかに高い加工技術を持っていたかをうかがい知ることができます。

忍性は貧しい人や病人などを救済し、後半生に鎌倉で極楽寺を開いたことでも有名です。2017年は忍性の生誕800年に当たることから、さまざまなイベントが企画されており、今秋には忍性が主役の映画も公開される予定です。この機会に、つくばにゆかりのある忍性に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

宝篋山近くには、奈良・平安時代の役所跡と考えられる平沢官衙遺跡や、市内からの出土品の一部を展示した出土文化財管理センター、小田城跡歴史ひろばがあり、この地域の歴史について学ぶことができます。ぜひ平沢・宝篋山ジオサイトを巡ってみてください。



**出土文化財管理センター**  
〔平沢81(筑波幼稚園隣)〕  
☎029(867)4757  
開館時間 9:00～16:30  
※(土)(日)(祝)は休み  
入館無料、駐車場あり



湯地蔵

宝篋山南麓の三村山極楽寺跡

五輪塔